

## 令和元年度 学校自己評価システムシート(私立志学会高等学校)

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 目指す学校像 | 活気あふれる学校づくりを目指す |
|--------|-----------------|

|      |  |
|------|--|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業を工夫し、基礎・基本的な知識を身につける。</li> <li>2. 安全・安心な学校づくりを推進する。</li> <li>3. 開かれた学校づくりをすすめる。</li> </ol> |
|------|--|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者調査実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |   |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者    | 名 |
|     | 生徒       | 名 |
|     | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |  |  |  |   |   |     |
|-------------|--|--|--|---|---|-----|
| 年 度 目 標     |  |  |  | 年 度 評 価 ( 5 月 3 1 日 現 在 )   |   |     |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的方針  | 方策の評価指標   | 評価達成状況  | 達成度 |
| 1           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本が身につけていない生徒、授業に関心のない生徒がいる。</li> <li>・不登校生徒で授業に出ることへの嫌悪感を持っている生徒がいる。</li> <li>・授業を受ける心構えができていない生徒がいる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上と授業改善</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の成績不振者への指導。</li> <li>・授業に落ち着いて真剣に受けられることができるような意識・環境づくりに努める。</li> <li>・不登校生徒の学校へのハードルを下げるため授業ではなく話を聞きながら意識改善を図る。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任、教科担当等で繰り返し意識づくりをはかったか。</li> <li>・成績不振者の割合が減少したか。</li> <li>・不登校生徒が学校への嫌悪感を減少したか。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・補習提出の遅れがあった。</li> <li>・不登校生徒だった生徒が授業を受けられるようになった。</li> <li>・授業中集中を切らしてしまう生徒が数名いた。</li> <li>・レポートの提出について意識をして臨む生徒が増加した。</li> </ul>   | B   |
| 2           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症発生時には、速やかに対応し、感染拡大の防止する。</li> <li>・自動車・原付及び自動二輪で通学する生徒がいる。</li> <li>・自転車通学する生徒がいる。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学校づくりの推進</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に対し、理解を深め常時予防に努めるとともに、発生の際に迅速に対応する。</li> <li>・交通マナーの意識を高める。(安全運転、ヘルメット着用、二人乗り禁止等)</li> <li>・自転車でも保険に入ることが義務可することなどを周知。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症罹患数を年度推移により検証する。</li> <li>・クラス担任による交通マナーの呼びかけをし、交通安全を実現できたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ等の感染症に感染した生徒はいた。また、校内において数名感染したようであった。保健便りで感染症予防などの周知を行った。</li> <li>・車・バイク通学者は保護者からの承認を徹底し、運転上のルールをしっかりと確認することにより、マナー向上の一歩となった。</li> <li>・自転車の保険について周知を行った。</li> </ul>               | B   |
| 3           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生・高校生・保護者へ教育情報を発信する必要がある。</li> <li>・外部向け教育セミナーを行い関心を引く。</li> <li>・学校施設の貸出。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた学校づくりへの取り組み</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報発信</li> <li>・魅力ある外部向け教育セミナーの実施</li> <li>・授業公開の実施</li> <li>・学校施設の貸出</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページを活用し、各分掌、学年等からの情報を分かりやすく発信できたか。</li> <li>・時事にあった教育セミナーを実施できたか。</li> <li>・学校施設の貸出を行っている情報を発信できたか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの「お知らせ」やFacebookにより、月に7～8回程度学校の近況を発信・動画配信していた。</li> <li>・教育セミナーを1回行うことができた。</li> <li>・アプリを作成し、アプリでのお知らせ等を配信することを始めた。</li> <li>・公開授業を始めた。</li> <li>・学校施設の貸出で新規の方へ貸出ができていない。</li> </ul> | A   |

| 学校関係者評価           |
|-------------------|
| 実施日 平成 年 月 日      |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
|                   |